

ながお町かわら版

神戸市合併70周年記念 特集号

風が見える町 長尾町



発行: 長尾町自治会
住所: 長尾町宅原 319-2
連絡先: 長尾出張所
電話: 078-986-2581

令和7年10月

長尾町自治会

<https://nagao-kobe.com>



神戸市合併 70 周年に寄せて

神戸市長



「ながお町かわら版 神戸市合併 70 周年特集号」の発刊を心よりお慶び申し上げます。
神戸市の最北部に位置する長尾町は、東西に長尾川が流れ、丘陵に囲まれた穏やかな地形に農地と集落が広がる、自然と暮らしが寄り添う地域です。古墳や条里制の痕跡が見つかるなど、古くから人々の営みが受け継がれてきた歴史がうかがえます。

1955 年、旧長尾村は神戸市と合併し、新たな歩みを始めました。平成に入り、上津台、鹿の子台、赤松台といった開発団地が整備され、地域は大きく姿を変えました。近接する大型商業施設などにより都市的な利便性が高まる一方で、田園や里山、歴史ある集落が残り、昔ながらの地域行事や農作業を通じた人のつながりも大切に守られています。

また、近年は地域の魅力に惹かれて移住を希望される方も増えつつあります。農村地域における規制緩和によりカフェなどの店舗の開業や、地域内外の人々が集う交流拠点づくりも進められ、新たなにぎわいが生まれています。

こうした長尾町の歩みと魅力が、地域の皆さまの手によって丁寧に記録され、次の世代へ受け継がれていくことは、まちの未来を形づくる上でとても大切なことだと感じています。本誌が地域の記録として広く共有され、多くの方に親しまれることを願うとともに、発刊に際しご尽力いただいた皆さまに心より敬意を表します。

長尾町がこれからも活力と魅力にあふれるまちとして、さらなる発展を遂げられますよう心より祈念申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。

力を合わせて新しいまちづくりを

長尾町自治会長 大江 重治



神戸市の最北端に位置する長尾町は昭和 30 年 10 月 15 日に神戸市と合併し、今年 70 周年を迎えることができたのは、先人たちのまちづくりへの努力、地域の皆様・行政の皆様の支援・ご指導によるものと深く感謝いたします。

平成 27 年からこの 10 年の間の大きな出来事としては；

- ① コロナウイルス感染の発生により、生活のすべての面に大変な影響を与えたのは記憶に新しいところです。
- ② 上記の影響の下で、長年続けてきた町民運動会も中断・中止となりました。住民の皆さんの高齢化も進み、その代替え行事として昨年町民フェスティバルを開催しました。
- ③ 町内に新病院が出来る計画は紆余曲折を経て、ようやく各種現地調査・立会いを行い基本計画説明会が行われました。
- ④ 空き家対策としては、「空き家おこし協力隊」を発足して、空き家の掘り起こし・移住希望者とのマッチング等に努めています。

長尾町はこれからの 10 年間さらに先の未来に向け、住みやすい町・住んでみたい町を目指してまちづくりの諸問題に取り組みます。

最後に 70 周年記念特集号の制作委員の皆様・資料提供等に協力を頂きました皆様に心から御礼申し上げます。

神戸市合併70周年に寄せて

長尾ふれあいのまちづくり協議会

長尾地域福祉センターは、昭和55年に「公民館・老人憩いの家」として発足し、平成5年に改修されて「地域福祉センター」として開所されました。

現在は昼食会・茶話会などの開催の他、各種会議や趣味の集まりの場に利用されています。

今後更なる利便性向上のため、利用可能日・時間帯の変更の他、利用料金の見直し等が検討されています。名称も「地域交流センター」に変更されて令和8年度から再出発の予定です。



長尾婦人会

長尾町が神戸市と合併して早や70年、過ぎました年月に思いを馳せております。

婦人会も母親の時代は、沢山の会員で着物の上に紺の上着を羽織って活動されている姿を思い出します。

今は会員も少なく高齢化しておりますが、皆若々しくまだまだ現役と頑張っております。しかしながら、北神地区から神戸市街への色々な行事の参加することが出来なくなり、地元のみの活動になって来ております。

JA女性会と協力しながら、地域福祉センターを利用しての手芸・料理・健康体操、また旅行にと楽しいひと時を過ごしております。地域の福祉センターに、皆さんがおしゃべり出来、身体を動かす場、手芸をする場として足を運んでくださる事に感謝しています。

身近な場所でのコミュニティを大切に集まれる場所のあるかぎり、長尾婦人会が皆さんの居場所であればと願っております。



長尾町福寿会

経済圏生活圈を三田と共にした長尾村、昭和の大合併の渦中、先人たちは神戸市との合併を希求して陳情を繰り返し、昭和30年10月神戸市最北端のまち長尾町が誕生した。

爾来、列島改造とも相俟って、地の利を生かしてゴルフ場、リサーチパーク、ニュータウン、そして大規模商業施設誘致など町内周辺開発が進んだ。

5年後には、急性期医療を担う新統合病院も誕生することになっている。人口1,110人余、高齢化率48%の長尾町は都会の中の田舎「とかいなか」である。

“尊故造新”福寿会は合併70年を機に、旧き良きもの・良きことを尊び、新しいまち・住みよい暮らしを創造する活動も大切だと考えている。長尾町そして皆様の弥栄をお祈りしています。



北消防団長尾支団

消防団は、戦後長尾村消防団として活動しておりましたが、昭和30年の神戸市合併に伴い神戸市長尾消防団となり、その後昭和58年には市消防団条例の改正により北区内8支団を統合し北消防団、現在の北消防団長尾支団の誕生となりました。

現在、2年ごとに兵庫県消防操法大会が開催され、わが長尾支団は昭和57年の第9回大会と昨年の第31回大会に神戸市を代表して出場しました。昨年の出場に当たっては、1年前から訓練を開始し、各方面から応援・協力をいただきなんとか成し遂げられました。その過程で築かれた信頼関係は大きく、今後の消防団活動に大いに生きてくると思います。



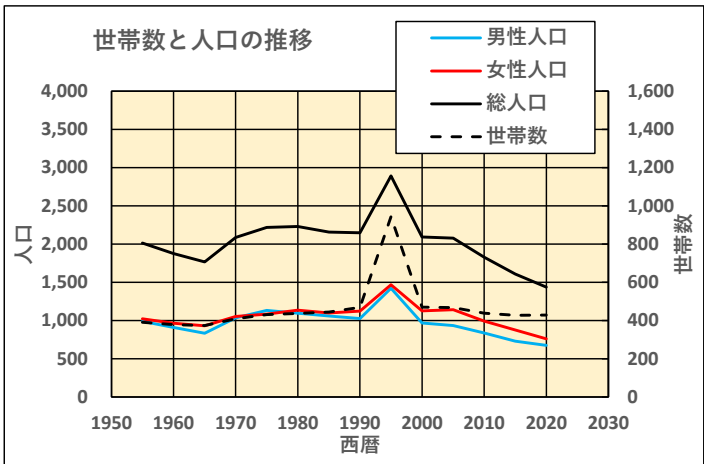
長尾町 70 年の歩み

西 暦	元 号	長尾町の出来事	社会の動き、出来事
1955 年	昭和 30 年	・神戸市と合併 有馬郡長尾村⇒神戸市兵庫区長尾町	・森永ヒ素ミルク事件 ・宇高連絡船紫雲丸沈没 ・新潟大火
1956 年	昭和 31 年		・日本、国際連合へ加盟
1958 年	昭和 33 年	・神戸市及び三田市組合立八景中学校と 校名変更	・三田市誕生 ・一万円札発行 ・東京タワー完成
1964 年	昭和 39 年	・兵庫区役所長尾出張所新築 ・長尾小学校 80 周年 ・集団赤痢発生	・東海道新幹線開通 ・第 186 回東京オリンピック開催
1965 年	昭和 40 年		・名神高速道路全線開通 ・米軍北ベトナム爆撃開始
1966 年	昭和 41 年	・有馬高原サナトリウム開設	・中国、文化大革命
1967 年	昭和 42 年	・北神戸ゴルフ場オープン	
1968 年	昭和 43 年		・3 億円強奪事件
1969 年	昭和 44 年	・日本鉄盤(株)進出	・東大安田講堂事件 ・アポロ 11 号月面着陸
1970 年	昭和 45 年	・菱三工業(株)進出	・日本万国博覧会開催 ・日航機よど号 ハイジャック事件
1972 年	昭和 47 年		・第 11 回冬季オリンピック札幌大会 ・浅間山荘事件 ・沖縄復帰
1973 年	昭和 48 年	・北区誕生 兵庫区長尾町⇒北区長尾町	・第一次オイルショック
1975 年	昭和 50 年		・ベトナム戦争終結
1977 年	昭和 52 年		・日本赤軍日航機ハイジャック
1978 年	昭和 53 年	・老人ホーム愛寿園開設	・成田空港開港
1980 年	昭和 55 年	・公民館・老人いこいの家会館	・イラン、イラク戦争
1981 年	昭和 56 年	・武庫川学院北摂キャンパス丹嶺学苑開設	・ポートルライナー開通
1983 年	昭和 58 年		・東京ディズニーランド開園
1984 年	昭和 59 年	・長尾小学校 100 周年 「長尾百年」発行	
1985 年	昭和 60 年	・神戸市及び三田市組合立八景中学校解散 ・神戸市立北神戸中学校開設	・日航ジャンボ機御巣鷹山に墜落
1987 年	昭和 62 年	・第一回町民運動会、文化祭開催	
1988 年	昭和 63 年	・中国自動車道神戸三田インター開通	
1989 年	昭和 64 年 平成元年		・昭和天皇崩御 ・ベルリンの壁崩壊 ・中国、天安門事件
1991 年	平成 3 年	・JA 長尾支所新築 ・鹿の子台まちびらき	・ソビエト連邦解体 ・湾岸戦争勃発
1993 年	平成 5 年	・長尾町地域福祉センター開所 ・神戸フルーツフラワーパーク開場	・皇太子ご成婚 ・北海道沖日本海地震
1994 年	平成 6 年	・麒麟ビール神戸工場操業	・関西国際空港開港
1995 年	平成 7 年	・阪神淡路大震災 ・神戸ロイヤルパインズゴルフ倶楽部開場	・地下鉄サリン事件
1996 年	平成 8 年	・長尾児童館開館	・O-157 流行
1998 年	平成 10 年	・上津台まちびらき	・長野冬季オリンピック開催 ・明石海峡大橋開通
1999 年	平成 11 年	・長尾防災福祉コミュニティ結成	
2000 年	平成 12 年	・長尾町公園開園 ・ザイサンアミノゾンの化石発見	・JA 兵庫六甲設立
2005 年	平成 17 年	・神戸市合併 50 周年 「長尾町誌」発行 ・長尾町ウォーキングマップ発行	・JR 福知山線脱線事故
2006 年	平成 18 年	・長尾小学校上津台移転開校 ・イオンモール神戸北オープン ・長尾町納涼カラオケ大会が終了	
2007 年	平成 19 年	・神戸三田プレミアムアウトレットオープン	
2008 年	平成 20 年		・リーマンショック
2010 年	平成 22 年	・第一回長尾オープングラウンドゴルフ大会開催	

長尾町 70年の歩み

西 暦	元 号	長尾町の出来事	社会の動き、出来事
2011 年	平成 23 年	・長尾町ウォーキングマップ改訂版発行	・東日本大震災 ・福島第一原子力発電所事故
2015 年	平成 27 年	・神戸市合併 60 周年 田辺真人先生の歴史講演会開催 ・めんたいパーク オープン	
2016 年	平成 28 年	・長尾町健康ウォーキング開始	
2017 年	平成 29 年	・有馬高原病院が緊急待避所に	
2018 年	平成 30 年	・大雨、台風通過で防災指令 2 号発令	
2019 年	平成 31 年 令和元年	・上上津地区 おくっちょ開所式 ・最後（第 3 3 回）の町民運動会開催	・京都アニメーション放火事件 ・首里城火災被害
2020 年	令和 2 年	・新型コロナウイルス感染症拡大 3 年間、自治会行事はほぼ休止	・新型コロナウイルス感染症拡大
2021 年	令和 3 年	・長尾町健康ウォーキング終了 ・長尾防コミ「地域お助けガイド」作成 ・上上津で「景観形成重要建築物」指定	・東京オリンピック・パラリンピック開催
2022 年	令和 4 年	・講演会「今、蘇る 200 年前の長尾の風景」開催 ・第 1 回長尾町パターゴルフ大会開催 ・三田市民病院と済生会兵庫県病院の再編統合による新病院整備計画案が発表	・ロシアによるウクライナ侵攻 ・知床半島沖で観光船沈没 ・安倍元首相暗殺
2023 年	令和 5 年	・長尾町空き家おこし協力隊発足	・新型コロナウイルス感染症が 5 類に移行
2024 年	令和 6 年	・新統合病院整備計画最終案発表 ・ふれあいの里「おくっちょ」開所 5 周年 ・長尾小学校 140 周年 ・長尾支団が兵庫県消防操法大会出場 ・第 1 回 長尾町フェスティバル開催	・能登半島地震
2025 年	令和 7 年	・神戸市合併 70 周年 ながお町かわら版記念特集号発行 ウォーキングマップリニューアル	・大阪・関西万博 2025 開催 ・岩手、岡山、愛媛で大規模山林火災 ・コメ価格が高騰 ・長嶋茂雄さん死去

人口、世帯数の推移



国勢調査による値（神戸市の HP より）					
西暦	元号	世帯数	男性	女性	総人口
1955	S30	391	989	1,024	2,013
1960	S35	378	911	964	1,875
1965	S40	374	833	932	1,765
1970	S45	409	1,035	1,053	2,088
1975	S50	431	1,133	1,085	2,218
1980	S55	437	1,095	1,134	2,229
1985	S60	444	1,060	1,098	2,158
1990	S65	469	1,025	1,122	2,147
1995	H7	943	1,423	1,469	2,892
2000	H12	470	967	1,125	2,092
2005	H17	468	934	1,143	2,077
2010	H22	438	837	991	1,828
2015	H27	427	731	877	1,608
2020	R2	428	676	760	1,436

- ・1955 年 (S30) と 2020 年 (R2) を比較すると、世帯数は 9.5% 増加していますが、人口は 71.3% に減少し、小家族化が進んでいます。
- ・1995 年 (H7) が世帯数、人口共に突出しているのは、（国勢調査と住民基本台帳では若干の相違があります。）阪神淡路大震災の影響と思われます。
- ・住民基本台帳によると、2001 年 (H13) と 2025 年 (R6) を比較すると、65 才以上の方の割合は、27% から 48% に増加しています。以上より、長尾町の少子高齢化がうかがわれます。
- ・住民基本台帳によると、2025 年 (R7) 4 月の世帯数は 573 軒、総人口は 1110 名（男性 553、女性 557）です。

写真で見る 70年

昭和30年



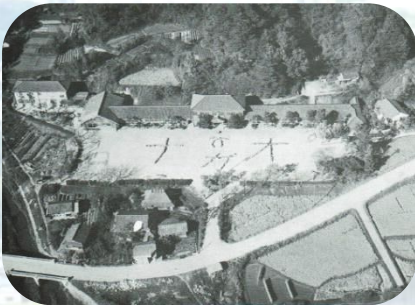
長尾村解村式 (S30)
「神戸市文書館提供」



長尾出張所開所式 (S30)
「神戸市文書館提供」



合併調印式 (S30)



長尾小学校 (S30)



長尾神社秋祭り (S30年代)



松茸狩り



北神戸ゴルフ場オープン (S42)



長尾小学校百周年 (S58)



下宅原の獅子舞
(一之宮神社)



神戸北中学校開設 (S60)

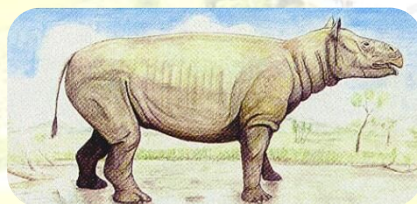


長尾町納涼カラオケ大会 (H15)

平成元年



最後の運動会 (H18)



ザイサンアミノゾン
の化石発見 (H12)



第1回長尾オープン
グラウンドゴルフ (H22)



合併60周年講演会 (H27)
田辺眞人先生の歴史講演会



7月豪雨による土砂崩れ (H30)



おくっちょ開所式 (H31)

令和元年



最後の長尾町民運動会 (R元)



大歳神社秋祭 (R元)



第41回長尾町民ゴルフ大会 (R2)



熊野神社秋祭 (R2)



さよならウォーキング (R3)



第41回趣味と芸術作品展 (R2)



講演会 (R4)

「今、蘇る200年前の長尾の風景」



第1回パターゴルフ大会 (R4)



児童館のとんど (R5)



第1回長尾町フェスティバル (R6)



第1回長尾町フェスティバル (R6)

将来に向けて 営農のあり方

人間にとって「食」とは、生きていく上で最も重要な活動です。その「食」を支えているのが農業です。しかし現在、長尾町を含め、日本の農業はさまざまな問題によって非常に厳しい状況に置かれています。

農業の現状

- ・町全体で土地改良により農地の整備が進み、作業効率は向上しています。
- ・こうべファーム、下上津営農会、岡営農組合、下宅原営農改善組合の4つの営農組織があり、地域計画を通じて農地の管理や環境保全に貢献しています。
- ・営農組織に参加しない小規模個人農家がまだまだ多い状況です。



問題点

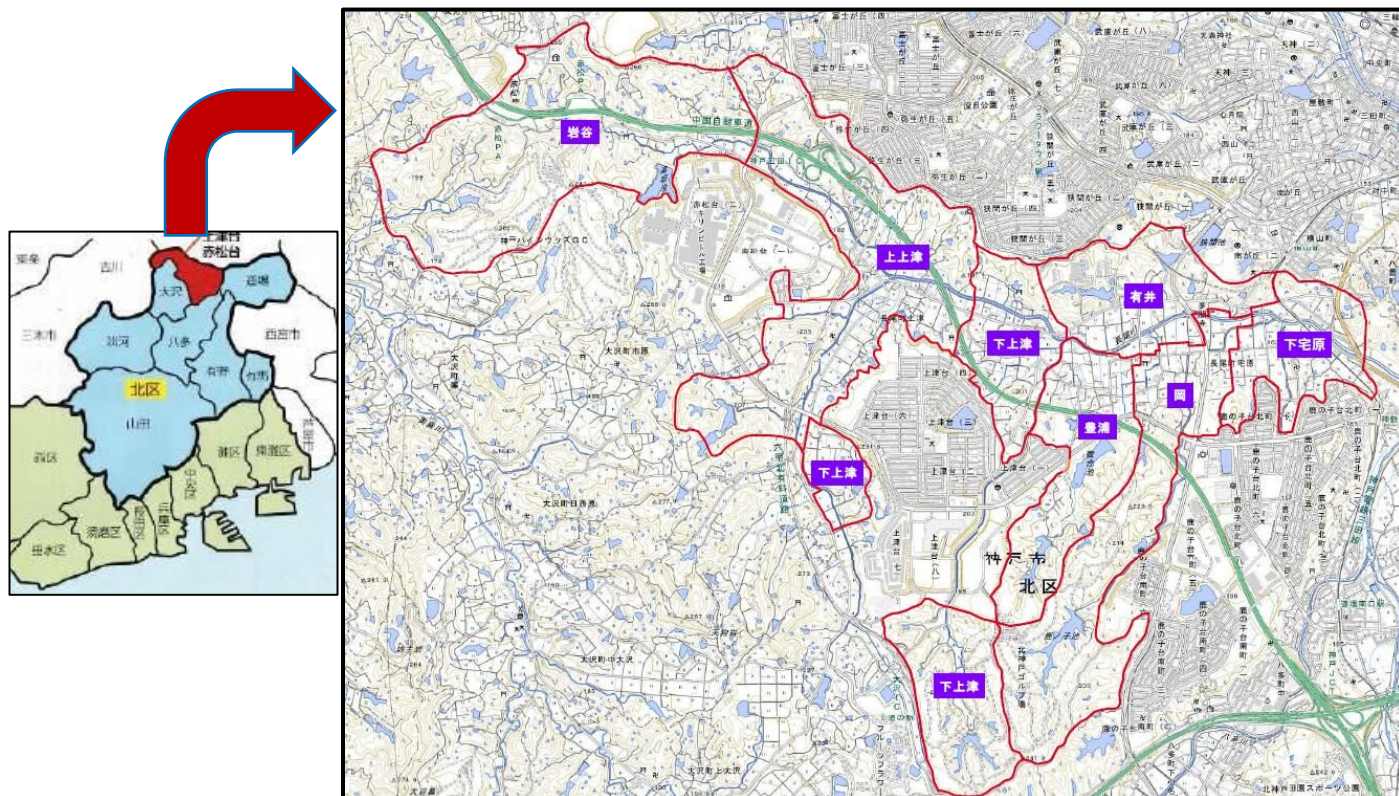
- ・農業従事者の高齢化に伴い、担い手不足が急増しており、農地の維持管理が課題となっています。
- ・最近の気候変動や有害動物の出没による被害により、収穫量が左右されるリスクが高まっています。
- ・小規模な農家では、大型機械の導入などによる効率化が難しく、若年層の営農離れの一因となっています。
- ・農業従事者の高齢化と相まって、耕作放棄地が増加しています。

将来に向けての在り方

- ・営農組織への参加を推進し、農地の集積化、効率的な管理を行い、生産性の向上、経営基盤を強化を図る。
 - ・新規就農者の受け入れや支援を強化し、農業の魅力を発信して、若い世代の参入を促進する。
- 現在、豊浦地区2件、上上津地区2件、下宅原地区1件、合計5件の新規就農者があります。
- ・気候変動や有害動物による被害を軽減するための技術や対策を導入する。
 - ・長尾町は都市近郊である利点を活かし、特産品のブランド化を進め、付加価値を高める。

町内の営農組織や自治体、JAなどが連携・協力し、作業の効率化、経営基盤の強化、収益性の改善を図ることにより、若年層が農業に取組みやすい環境を整えることが重要と思われます。

長尾町 各地区



将来に向けて 空き家おこし協力隊

長尾町でも、所有者の高齢化など諸々の事情で、空き家状態となっている物件が発生している状況を踏まえ、長尾町自治会では、令和5年に「神戸里山・農村版空き家おこし協力隊」を発足させました。

空き家おこし協力隊は、空き家所有者が感じる不安や悩みに寄り添いながら、空き家の新たな利活用に向けてサポートしたり、移住希望者等の相談を受けてフォローしたりする地域団体です。

空き家を活用して地域になじみながら、移住、起業する新たな人材を受け入れることが出来れば、地域にとって、担い手不足解消や活性化の面でメリットが期待されます。その一例として、平成31年に地域の古民家を再生した「ふれあいの里 おくっちょ」がオープンし、地域の交流拠点・憩いの場として町内外から利用者が集っています。

下記の地図は、町内にある地域交流拠点と飲食店を示します。

今後、空き家を活用した飲食店や交流拠点が増え、長尾町の活性化に繋がることを期待します。

飲食店

- | | |
|-----------------------|-----------------------------|
| ① 穂の花 | カフェテリア、鍋料理 |
| ② 福°来ぶくスイーツ | 洋菓子店 |
| ③ ROCK VALLEY | 石窯pizza、肉料理 |
| ④ ポコポコペペ | ハンバーグ、洋食 |
| ⑤ 居酒屋一時 | 蕎麦、たこ焼き、居酒屋 |
| ⑥ めのめ倶楽部 | カフェレストラン |
| ⑦ DAKOTA RUSTIC TABLE | ハンバーガーカフェ |
| ⑧ おかずのOKAZU | お弁当 |
| ⑨ ホノカベカーリー | パン屋さん |
| ⑩ SPIN-OFF COFFEE | コーヒーショップ |
| ⑪ カフェ燦々 | カフェレストラン
(三田ボウリングセンター1階) |
| ⑫ 焼肉八景 | 焼肉店 |

地域交流拠点

- ㉞ ふれあいの里おくっちょ
- ㉟ neo yorai
- ㊱ 子ども食堂ねっこ



長尾町各地区の現状と将来に残したいもの

長尾町は、神戸市の最北部に位置する小高い丘に囲まれたのどかな田園地域で、弥生時代から人々が居住していたと考えられる歴史あるまちです。そのため、町内には文化財や古くから伝承されてきた行事等があります。

岩谷地区 長尾神社は江戸時代には、上津畑庄八ヶ村の惣社で、秋祭りには地車（だんじり）・獅子舞・相撲などを奉納していましたが、今は跡絶え、祭りの最後の餅撒きが残っているのみです。また、氏子は30軒足らずであり、神社の老朽化に対応し、維持管理、伝承していくのが難しい状況です。

今後、長尾神社を後世に残していく方法を模索する必要があります。



上上津地区 大歳神社の秋祭りが今もなお地域の伝統文化として息づいています。祭りでは、長尾町内に唯一残された曳だんじりが、子供神輿とともに太鼓・小太鼓・釣鐘・摺鉦による「カンカン・ドテドテ」と響くお囃子に合わせて巡行し、地域に伝わる「祇園ばやし」と「ケヤリ」の歌声が響き渡ります。子供から大人まで一体となって町内を練り歩く姿は、地域の活気と誇りを感じさせます。



下上津地区 「イオンモール」「アウトレット」ができ、周辺の地域が宅地開発されて、一部の住民が新しい宅地に住み、関係の隣保が分断されています。

また、上津熊野神社では、秋祭りに神戸市の無形文化財に指定されている神楽（獅子舞）が奉納されています。しかし、神楽保存会メンバーの高齢が進んでいます。現在、下上津自治会は地域交流や伝統文化継承の改革を推進しています。



豊浦地区 明治時代に廃寺となった雲禅寺の仏像、仏画、経典等が自治会で保存されており、神戸歴史遺産として認定されています。仏像は漆塗りの厨子に納められた西国三十三所観音像33体（像高15cm前後）と釈迦如来坐像1体（約10cm）で、厨子背面には番所名や仏像の寄進者、制作年代、仏師名が書かれています。他に金銅製誕生仏1体（像高21cm）があります。

今後も、地域の歴史を伝える資料として守り伝えていきます。



有井地区 地区内には、公共施設～JA兵庫六甲北神長尾支店、北神区役所長尾出張所、長尾地域交流センター、長尾町公園～があり、近隣の住民が利用しています。2024年、古民家を改装したSPIN-OFF COFFEEがオープン、隣にneo yoriaiを開業。新たな地域交流が始まっています。多聞寺は国指定重要文化財として「毘沙門天立像・吉祥天女立像・地藏菩薩立像」を収蔵。毎年1月に毘沙門天大祭があり、読経～護摩炊き～火渡り～福引きが執り行われています。



岡地区 地区の主な産業は農業ですが、担い手不足や高齢化に対応する為、岡宮農組合を立ち上げ、営農活動を行っています。新病院の建設により、生活環境だけでなく農業にも変化が起こると思われますが、農地の集約化、効率化をはかり、営農を継承していきます。また、地区には、宅原4地区で祀る一之宮神社があり、参拝者も増えつつあります。



下宅原地区 西側には隣接の岡地区に跨って建設予定の新病院の計画が有り、そして東側には神鉄線路に沿って広がる水稻を中心とした農村風景と山腹に祀られる八王子之宮神社が有ります。こちらは地区で知恵を出し合って、神社を隣保班で維持して残していきたいと思ひます。



上記は、現状と、将来に残したいものを記述しました。30年後の神戸市合併100周年にも、伝統が維持されていることを願っています。（ながお町かわら版編集委員一同）